

❖ ウッドデッキ ❖

ウッドデッキはリビングと庭をつなぐ素敵な空間となります。タイルテラスや石貼りテラスとは比較にならないくらい利用頻度が高い場所となるでしょう。ただ、利用するには周囲からの視線を考える必要があります。折角設置しても視線が気になって利用されていない方が沢山おられます。

また、サイズや形状は自由自在ですからご家族のご利用方法を検討して決定することをお勧めします。高さはテラス窓サッシ（掃き出し窓）下端に合わせる事が多いのですが、強い雨や積雪を考え少し下げた設置したり、状況に応じてバリアフリーにする事もお検討いただきたいところです。

材質に関しては本来の天然木や変色の遅い樹脂製や両方の混合製品（人工木）等が主流ですが、それぞれ一長一短がありますので、味わいやメンテナンス、耐久性を専門家に相談して決める事が得策だと思います。天然木でも数年で腐朽してしまうものから30年程度ノーメンテナンスでも耐えるものもあります。デッキの傷みは表面の板材はもちろんですが、肝心の床下構造材も重要です。防腐剤の注入材では切り口やネジ部から腐食が始まります。市販のスチール木ネジ（コーススレッド）も数年で錆びて折れてしまいます。高耐久にするには全てに細心の素材選定知識が必要です。床下は舗装するにこしたことはないでしょうが、基本的に高耐久材であれば土や砂利でも構わないでしょう。（床下に物を収納したいようであれば別ですが。。）ステップは梯子状よりはBOX型にしたローデッキ型の方が安定感もありお勧めです。手摺やフェンスは室内からの眺望も考えて閉塞感のない様な配置をしましょう。ウッドデッキの南西角方向に大きめの落葉樹を植える事で夏の夕方には木陰ができますので、デッキライフが更にエンジョイできます。



天然木



人工木



樹脂（リポス）

天然木ウッドデッキ



アイアンウッド以外の種類では、長くお使いいただくために年1回の塗装は必要になります。表面をサンドペーパーで磨き、専用塗料を塗ります。塗膜をつくる塗料である「ペンキ」や「ニス」はNGです。

樹種により、耐久性に大差があります。

人工木ウッドデッキ

特別なメンテナンスは必要ありません。どうしても屋外で使用するものなので、経年変化で色褪せはありますが、塗装の必要はありません。少々の傷がついた場合は、サンドペーパーで磨く事で解消できます。

木粉の入っているものは乾燥を心がけましょう。



ステップ



BOX 型



梯子型